



8月うぶやま天文台星空情報①

スターウィーク (星空に親しむ週間)



8月の星空情報の第1弾は、恒例となったスターウィークです。今年のテーマは、「この星空。一人で見るとは、もったいない。」です。スターウィークとは、梅雨明けの8月の第1週に国立天文台や日本公開天文台協会（JAPOS）が提唱している「星に親しむ週間」です。8月上旬になると全国的に梅雨が明け天候が安定する頃ですので、星空を眺めるのにとっても適しています。この期間、全国の公開天文台などで星空観察会などの関連イベントが開催されています。太陽太陰暦（いわゆる旧暦）の7月7日にちなんだ、かつての七夕の頃を国立天文台では、「伝統的な七夕」と呼ぶことにし、2001年から広く周知しています。今年は8月22日になります。

この伝統的七夕の日は、夕暮れの頃には上弦の前の月が南西の空から昇り、星空が十分に暗くなり星々が輝き出すと、頭の真上には七夕にちなんだこと座の1等星ベガ（織姫）、わし座の1等星アルタイル（彦星）、を見つけることができます。また、近くのはくちょう座の1等星デネブを結ぶと有名な「夏の大三角」を見つけることができます。夜空の暗い所であれば、これらの3つの星座の中を流れる「天の川」も見ることができます。うぶやま天文台のあるファームビレッジ産山では晴れたら素晴らしい天の川を楽しめます。ぜひ、星を見にお越しください。



スターウィークのポスター

伝統的七夕 2023



2023年 8月 22日 20時頃
東京の星空

国立天文台